



# サフラン便り

第20号 18年4月15日発行

発行: 佐賀県女性薬剤師会

佐賀市本庄町大字本庄 1269-1

TEL:0952-23-8931

FAX:0952-23-8941

<http://www8.ocn.ne.jp/saffron>

## 日女薬「診療ガイドライン薬剤コース」

## 平成17年度 後期スクーリング講習会 報告



開催日時：3月12日(日)9:00~14:50 於：県薬2階研修ホール  
 内 容：「前立腺肥大症について」(アステラス製薬 谷口善輝先生)  
 「アレルギー性皮膚炎」(高木病院 皮膚科 鈴木康之先生)  
 「緑内障・白内障について」(美川眼科医院 副院長 美川優子先生)  
 「呼吸器疾患の薬物動態についてPK/PD」(塩野義製薬 眞石米孝先生)  
 「甲状腺機能障害について」(あすか製薬 西村秀利先生)

今回で3回目を迎えましたスクーリング研修会。皆様のご協力のもとに無事開催することができました。3月は何かと行事が立てこむ中、63名の方の参加をいただき有り難うございました。前回は作成いたしました、「Q&A集」を女性薬理事を中心に、参加者の方からお手伝いいただき、ただ今製作中でございます。スクーリングに参加できなかった方や、本年度の受講者の方にはお送りしたいと思っています。

また、本年度ガイドライン申し込みには遠くは宮崎県、熊本県、福岡県の先生方の参加をいただき、通信講座の利便性が受け入れられたと感謝しております。何かお気づきの事がありましたら、事務局までお知らせください。

(アンケートから)

- \* 皮膚科の鈴木先生の講演は普段疑問に思っている内容を分かり易く説明されてとても印象的でした。
- \* 白内障、緑内障のビデオを見せて頂いたことが良かった。  
アトピー性皮膚炎などの外用薬を服薬指導する時のポイントが良く理解でき役立てたいと思う。
- \* 緑内障、白内障の薬と手術のことが学べた。
- \* なかなか一人で学ぶことが難しいが、このようなスクーリングがあれば効率良く学べて良かった。
- \* 緑内障で使用禁忌ばかりではないと言う事がわかり眼からウロコでした。
- \* やはり、Dr.の話は面白いので予算が許す限りお願いしたい。
- \* Dr.が臨床現場で直面している問題点及びそれに対するアプローチの方法で様々な工夫を凝らしている点など興味深く拝聴した。
- \* テキストで学んだ事の詳しい内容を直接先生方よりお聞きしてとても理解を深めることができた。  
予習していることでスクーリングはとても有用な方法だと思った。
- \* 皮膚科では非ステロイド剤を使用しないと言われたのが印象的。小児科でオムツかぶれに使用されているケースがあるので、感作を起こしやすいので気をつけたいと思った。
- \* 鈴木先生の軟膏の塗り方を実際に分かり易く説明してもらった。美川先生のビデオは図などよりも分かり易く抗コリン剤と緑内障との注意する点が文献では分かりにくいことを説明してもらい良かった。
- \* Dr.の臨床の話がいつも役に立って印象的。原則と実際的な使い方や患者指導のコツが分かった
- \* 県外より参加させてもらっています。内容も進め方もきめ細かくて良いので次年度も参加したい。
- \* 全ての講義が有意義でした。一コマが短時間であるのも良かった。

### <症例報告>

#### 抗アレルギー剤を通常の6倍服用!

母親から。アレルギー性鼻炎のためアレロック錠5mgを服用中の自閉症の子供(18歳)に鼻炎がひどかったため前日にOTC鼻炎薬を母親が服用させた。OTC薬があるのでアレロックはもう必要ないと勝手に思い込み残薬を薬という概念を理解できなかったのか残り分6錠を全部一度に服用してしまった。体調の変化が心配で電話したとのこと。

現在急変の様子がないことを確かめた上で、大至急調べた後連絡するので今はそっと様子を見ておくように伝え一旦電話を切る。

メーカーへ問合せ、FAISでの試験で80mg投与例があり、大きな有害現象はないことを確認し母親へ連絡する。本人は平気とのこと。アレロックは吸収が早く( $T_{max}=1hr$ )牛乳で吸着させるよりも排泄を促すほうがよいので水分を良く取らせて尿をたくさん出させるようにアドバイス。障害者にも可能なかぎり服薬指導が必要だと思われたケースだった。(徳淵)

<挑戦してみませんか?> 第90回薬剤師国家試験問題から

問1 薬物の分布に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 血液脳関門を介した薬物の脳内移行については、水溶性が高い薬物ほど、脳へ移行しやすい。
- b 分子量5000以上の薬物は皮下注射すると分子量が大きいため血管内皮細胞の間隙を通過しにくく、一部はリンパ系に移行する。
- c 経口投与では、一般に薬物は血管内に移行するが脂溶性ビタミンのビタミンAなどはリンパ系に移行する。
- d 薬物の組織結合が大きいほど、分布容積は小さくなる。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	誤	正
4	正	誤	誤	正
5	誤	正	正	誤

問2 麻薬および疼痛緩和法に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 鎮痛補助薬としてカルバマゼピンやアミトリプチリンが用いられる。
- b フェンタニル貼付薬は疼痛緩和療法の第一選択薬である。
- c モルヒネ製剤は中等度から高度の痛みに対して用いられる。
- d モルヒネを経口的に投与する際、効果を最大限に発揮させるためには制吐薬や緩下薬を併用してはいけない。
- e 痛みの強さを把握するためには visual analog scale(VAS)や face scale などが用いられる。

1 (a, b, c) 2 (a, b, e) 3 (a, c, e) 4 (b, c, d) 5 (c, d, e)

問1 - 5 問2 - 3

<ちょっと一言>

春が来ると若葉の柔らかい緑が、スーッと眼に入ってきます。緑色は白内障の方にも見え易い色なのだそう。また、春は新入学新社会人の初々しい顔も見受けられます。久々に会った知人がとても若々しくなっていた。聞けば、仕事の幅を広げるべく社会人入学した大学で娘と机を並べているとの事。社会人になった息子が保護者として成績表を受け取っているというエピソードも披露してくれた。夫を失う苦勞を乗り越え、感謝を胸に生きている彼女に自立した女性の凛とした美しさを見ました。(島田)

<お知らせ>

\* 「もっと学ぼう小児疾患」 - 子どもの精神科領域 (平成18年度日本女性薬剤師会全国研修会)

開催日時:平成18年6月25日(日) 9:30~16:00

開催場所:学術総合センター 2階(一橋記念講堂/東京都千代田区)

受講料:7000円(3名参加者募集。参加費・旅費半額支給。但し県薬会員に限る)

取得単位:(財)日本薬剤師研修センター認定 3単位 (お問い合わせは事務局まで)

\* 第21回アジア薬剤師会連合学術大会(FAPA)

開催日・場所:11月18日(土)~21日(火) 横浜市 パシフィコ横浜

佐賀県女性薬剤師会では、ホームページにEnglish版(基本理念と沿革)を掲載しています。アジアの女性薬剤師の方にもアクセスしていただこうとPRを兼ねてポスター発表をしようと計画しています。薬剤師の国際化といわれる中、少しでも海外の事情を見聞きする良い機会と思います。是非発表準備のお手伝いをしていただけないでしょうか?そしてFAPAに参加しましょう。詳しくは徳淵(鳥栖三養基女性理事)まで。



(薬局にて)去る2月の生涯教育研修会で昭和大学の倉田なおみ先生の講義を受けました。「障害者への服薬支援」~ちょっと待ってそのつづし~その事例報告。昨日、99歳女性にカブロンとフェロミアの粉碎の可否を病院から聞かれました。腸溶錠であるため脱カブロンは良いが粉碎は不可。フェロミアは顆粒に変更したものの、鼻腔注入の為経管がつまるというのです。そこで温熱懸濁法を提案。フェロミアはすぐに溶解。カブロンは溶解せず。すると20代女性薬剤師が「日薬雑誌4月号のP83の記事」を持ってきて、PPIを粉碎使用の際は制酸剤と併用することにより胃内で安定し腸から十分な吸収が得られると。粉碎気をつけましょう。ご参考まで。(宮地)